

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【公表番号】特表 2016-520068 (P2016-520068A)

【公表日】平成 28 年 7 月 11 日 (2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報 2016-041

【出願番号】特願 2016-513108 (P2016-513108)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/545 (2015.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 K 35/36 (2015.01)

A 6 1 K 35/30 (2015.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/0775 (2010.01)

C 1 2 N 5/074 (2010.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/545

A 6 1 L 27/00 V

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 35/36

A 6 1 K 35/30

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 1 2 N 5/0775

C 1 2 N 5/074

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 9 日 (2017.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

幹細胞の集団と共移植されたコラーゲングリコサミノグリカンスカフォールドからなる、創傷治癒スカフォールドであって、前記幹細胞の集団が、
a) 幹細胞の集団の少なくとも 80% が ABCB5 + 幹細胞である、

- b) 組成物の細胞の50%未満がABCB5(-)細胞である、
 - c) 集団が、5%未満のケラチノサイトおよび/または上皮細胞を含む、
 - d) 幹細胞が、ABCB5+真皮間葉系幹細胞である、
 - e) 幹細胞の集団の少なくとも85%が、ABCB5+幹細胞である、
 - f) 幹細胞の集団の少なくとも90%が、ABCB5+幹細胞である、または
 - g) 幹細胞の集団がABCB5+眼幹細胞であって、前記細胞集団が、非眼細胞を含まない、
- ことを特徴とする、

前記スカフォールド。

【請求項2】

請求項1に記載の創傷治癒スカフォールドであって、ABCB5+幹細胞が、対象の組織から単離され、ABCB5+幹細胞が前記対象における他の細胞からABCB5に対して特異的な抗体を用いて分離されたものである、前記創傷治癒スカフォールド。

【請求項3】

スカフォールドが、架橋されたコラーゲンおよびグリコサミノグリカンの多孔質マトリックスであり、且つコラーゲンがウシ腱コラーゲンである、請求項1または2に記載のスカフォールド。

【請求項4】

スカフォールドが、任意にポリシロキサン(シリコン)である半透性層を含む、請求項1~3のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項5】

スカフォールドがメッシュスカフォールドである、請求項1~4のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項6】

スカフォールドが、約10~500マイクロメートル、50~350マイクロメートルまたは70~200マイクロメートルの孔サイズを有する、請求項1~5のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項7】

創傷治癒を増強するために有効な少なくとも1の生理活性分子をさらに含む、請求項1~6のいずれか一項に記載のスカフォールド。

【請求項8】

治癒を促進するために、創傷を、請求項1~7のいずれか一項に記載の創傷治癒スカフォールドと接触させることを含む、創傷治癒を促進するための方法。

【請求項9】

創傷が熱傷または糖尿病性潰瘍である、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

スカフォールドと共に陰圧創傷治療を用いることをさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項11】

生物学的組織スカフォールドにABCB5+幹細胞を播種すること、および組織が形成されるような条件下においてスカフォールドを維持することを含む、組織工学の方法。

【請求項12】

生物学的組織スカフォールドが、同種移植片または自家移植片、異種組織あるいは脱細胞組織である、請求項11に記載の方法。

【請求項13】

創傷治癒を促進する用途のための創傷治癒スカフォールドであって、創傷を創傷治癒スカフォールドと接触させ、スカフォールドがABCB5+幹細胞の集団と共移植されたスカフォールドを含み、且つABCB5+幹細胞が眼から単離される、前記創傷治癒スカフォールド

。

【請求項14】

創傷が眼の創傷である、請求項13に記載の用途のための創傷治癒スカフォールド。

【請求項 15】

細胞の集団が非眼細胞ではない、請求項 13 に記載の用途のための創傷治癒スカフォールド。